



JAPAN
MARROW
DONOR
PROGRAM

< 別紙 >

緊急安全情報

2003 年 8 月 13 日

(財) 骨髄移植推進財団
認定施設採取責任医師 各位

財団法人 骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会

骨髄採取後、左腸腰筋部位に血腫を認めた事例について

このたび、骨髄採取後、左腸腰筋部位に血腫を認めた事例が報告されました。採取施設からの報告によれば以下のような概要です

< 経過 >

入院時 H b 16 . 1 g/dl

Day +0 骨髄採取 採取部位：両側後腸骨陵 骨髄採取量：350 ml

採取後、穿刺部痛及び左ソケイ部痛を訴えるが、徐々に改善。これらの痛みは歩行時、あるいは股関節を外転した時に認められた。

H b 13 . 8 g/dl

Day+1 左下腹の圧痛が出現。増強するため腹部エコー施行。明らかな所見は見られなかった。

H b 12 . 8 g/dl

Day+2 左下腹の圧痛が持続。CT施行。左腸腰筋内に血腫およびガス像を認めた。止血剤並びに抗生物質の投与開始。

H b 13 . 8 g/dl

左腹部の圧痛を認めるが、歩行は可能。食欲などの全身状態は良好。

< 原因 > [採取施設からの報告]

骨髄採取時に、骨髄採取針が骨盤を貫通したのではないかと考えられます。

詳しい原因につきましては、有害事象調査委員会を設置し調査をする予定ですが、当面は、各施設におかれましては、以下の点に留意して頂きたいと存じます。

穿刺針の長さや腸骨の厚みを十分配慮して、穿刺の深さを調整すること。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人骨髄移植推進財団
ドナー安全委員会
(事務局 担当:折原)

TEL 03-5280-2200

FAX 03-5283-5629